

# 釧路高専だより

2 0 1 3 12  
KUSHIRO NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

## CONTENTS

- 2-4 4年生が見学旅行に行きました。
- 5 プロコン・ロボコン
- 6-7 高専祭
- 8 新任教員紹介・タイ KMITL 留学記
- 9 Club 紹介・全道&全国高専体育大会結果
- 10 オープンキャンパス
- 11 釧路高専ジュニアサイエンスクラブ、活動中
- 12 ニュージーランド語学研修に参加して・行事予定

Vol. 113

# 4年生が 見学旅行に 行きました。



今年の研修旅行は、はじめて？夏休み中に行われ、寮生やインターンシップ中の学生の移動を考慮して、1日目の宿泊となる大阪に直接現地集合。全員集まるのか不安でしたが、無事集合して4泊5日の見学旅行が始まりました。まずは大阪名物の「粉もの」など、食べ歩いて食い倒れることからスタート!?

大阪、京都の関西圏に滞在後、愛知を経て、東京方面へ移動。京都のサントリーの工場では、20歳を超えたらぜひ飲みたい！プレミアムモルツを製造しており、製造過程や工場の仕組みなどの説明を受けました。TOYOTAではプレスされた自動車のボディが自動で動くロボットにより、溶接されていたのが印象に残りました。高速で動くロボットにTOYOTAの効率化があらためてすごいと思いました。横浜では、森永製菓で某TV番組でも紹介されていた「小枝」や「ハイチュウ」の製造ラインを間近に見学し、千葉では某有名テーマパークの整備を行うMテックの見学を行いました。工場見学の合間には、清水寺、金閣寺を見たり、横浜中華街で昼食をとったりと観光も楽しむことができました。サントリーとMテックでは本校機械工学科卒業生から直接仕事内容をプレゼンしてもらう機会にも恵まれ、入社間もないとのことでしたが、社会人として活

## 4M 機械工学科 げん ま まこと 弦間 慎



躍している姿を見て頼もしさを感じました。  
釧路に戻るとき、台風の影響に巻き込まれ、見学旅行が伸びた!?学生もいたりして、楽しく印象に残る旅行になりました。



主  
機  
械  
工  
学  
科  
先

- ・1日目 大阪集合
- ・2日目 サントリー・京都ビール工場 → 清水寺 → 金閣寺
- ・3日目 トヨタ自動車・トヨタ会館
- ・4日目 森永製菓鶴見工場 → 横浜中華街 → 東京都内研修
- ・5日目 Mテック → 現地解散



ついにやってきた見学旅行!! 昂ぶる気持ちを抑えながら私たちは釧路空港を後にした。

楽しみ7割不安3割の気持ちで迎えた初日はお台場のフジテレビ見学であった。着くなりいきなりの自由行動宣言。私たち(というか私)は驚きを隠せなかった。しかし、下手に縛られるより気が楽で時間も自由に使えるので、私たちは各々でフジテレビとその周辺を見学し、その日は終了した。

2日目はスカイツリーの見学だった。その日の集合時間は7時。あまりの早さに私はじええじええ!?と言いたかった。移動中のバスの中で爆睡をかました私はスカイツリーを存分に見学することができた。しかし私を含めた数名が道に迷い、集合時間に遅れたのはここだけの話。(笑)

## 4E 電気工学科 こまつあきひろ 小松晃大



(本当にすいませんでした)  
3日目の大阪科学館では、みんな面白い写真を撮った。また、発電コーナーで「俺が発電マスターだ!」と言って19歳の高専生が小学生に混ざり発電を体験した。(笑)

4日目は法隆寺や金閣寺といった寺巡りだった。この日は歩きまわった。しかし、金閣寺の輝きと、清水寺の静寂はそんな私の疲れを忘れさせてくれるほど素晴らしいものだった。

最終日は嵐山での自由行動のみだった。そこで見た竹林は今でも忘れない。入った瞬間言葉が失った。とても美しく強かな竹と、涼しい空間。また来たいと強く思えた。

5日間という短い期間で様々な施設を見学し、みんなで笑いあった。私にとってかけがえのない時間であり、宝のような5日間であった。この4年電気工学科だったからこそ、こんなにも楽しい時間を過ごすことができたのだろう。この先もみんなで笑いあいたい。



今回の旅行をとおして、今までの自分の常識などが大きく覆されることとなった。まず北海道から成田に行くときの飛行機では、荷物の検査から航空券の受け取りなど、移動することだけでも初めての体験をたくさん出来た。空を飛んで雲に入る前に大きな海と離れていく北海道を見て、とても興奮していた。他には飛行機の搭乗手続きなど様々なところで電子化・情報化が進んでいるのを見て、他にどんな技術があるのかな?などと考えた。自分も4年間で少し高専生らしくなっているのだと感じた。

タイについてからは、高揚した気持ちと無事過ごせるのかと多少の不安もあった。キングモンクット工科大学(KMITL)では英語での歓迎、会合があった。わからない単語が多かったが、ところどころ分かる単語や映像を見ながら大まかに理解することができた。今

で実践的な英語を見たりする機会がなかったのだ、新鮮なもので、昼食を食べる時もせっかくなので、KMITLの学生とコミュニケーションをとりたいと思い、短期

## 4D 電子工学科 まつおあきひろ 松尾章弘



留学に来ていた釧路の専攻科の方の席にご一緒させていただいた。そこで富山高専でインターンシップに来ていた3人の方とも話せた。タイの学生とはぎこちない英語ではあったが会話もできた。「料理おいしい?」などとても単純な会話でも、初めて外国の人と面と向かいコミュニケーションをとったので少し緊張したが楽しい昼食だった。学生の研究も自分たちよりも進んでいる事をしていて興味深かった。

観光では、バスから景色を眺めてみたり遺跡や寺を見て回ったが、建物の作りを見ていると世界の文化が混じってできたのがタイなのだと感じた。

今回の旅行で言葉の通じない人との交流、ショッピングなど多くのことを行った。最初は不安だったが、少しずつだが言葉が通じなくてもコミュニケーションを取るスキルが自分についていったことが嬉しかった。自分に刺激をもらう良い機会になった。またいつか海外に行きたい。





私たちは研修旅行で、東京、京都、大阪に行ってきました。東京2日間、京都2日間、大阪で解散という日程でした。まず一日目の東京では、日本科学未来館に行き、今まで見たこともないような規模の科学館にとっても感動しました。とても広い吹き抜けのホールにあった地球の模型や中にある売店に売っていた宇宙食など他にも様々なものを見て子どものように楽しんでしまいました。夜は東京の学校に進学した友達と遊んだりしました。

二日目は皆眠そうな顔で朝ごはんを食べるところから始まりました。バスで東芝科学館に行き、静電気の実験などで楽しんでいました。その後浅草で一時的解散して、各々の自由行動を楽しみました。数カ月前から念入りに練っていた計画と旅行ということもあり、とても嬉しい楽しい時間を過ごせました。

三日目は京都へ向かいました。バスの中ではやっぱりみんな眠そうでしたが、バスのガイドのなっちゃんが可愛くて目が覚めました。京都についてからは有名なお寺をいくつか巡りました。なっちゃんと写真を撮ったりと、みんなはしゃいでいました。

四日目は自主研修で1日自由でした。みんな色々な所へ行っていました。この日に大阪の食べ物がとても

## 4J 情報工学科 はっとりりゅうた 服部龍大



もおいしく、また来たいと思いました。

五日目は大阪の企業家ミュージアムに行き、色々な企業家の歩みを見ってきました。日本の経済を支えてきた人々を見て素晴らしいと思いました。全体を通してとても楽しい旅行でした。



私たちは9月9日～9月13日の5日間で見学旅行に行ってきました。夏休み中の日程だったので、現地集合、現地解散という自由時間が多めの旅行でした。

初日は国立新美術館、東京スカイツリー、浅草の雷門を見学しました。東京スカイツリーの高さと展望台からの景色にまらびびりました。

2日目は新幹線で京都へ移動し、金閣寺、龍安寺を見学しました。その後の自由時間で「金閣寺を見たんだから銀閣寺も見たい!」という思いに駆られ、いざ現地へ行くと閉まっていたという話は、今では良い思い出です。

3日目は奈良公園・東大寺、薬師寺、法隆寺を見学しました。東大寺の大きさと金剛力士像、大仏の威圧感には圧倒されました。薬師寺のお坊さんから頂いたお言葉は、今でも皆の心に残っていると思います。

4日目は三十三間堂、南禅寺・水路閣、清水寺を見学し、大阪へ移動しました。三十三間堂の1,000体の観音立像は、写真等であらかじめ拝見していましたが、実際に生で見ると圧巻でした。清水寺は、舞台から見る景色がとても良く、授業で習った懸造を間近で見

## 4A 建築学科 はたけやまじゅんいち 島山純一



ることが出来、いい勉強になりました。

最終日はUSJ入場後、解散でした。今年一番はしゃいだと思います。あつという間の5日間でしたが、教科書で見た建築物を実際に生で見たり、いろいろな方との出会いや、クラスの皆や先生との交流、本当に貴重な体験をすることが出来ました。





## 第24回全国高等専門学校 プログラミングコンテスト出場！

私たちプログラミング同好会は、旭川で開催された全国高専プログラミングコンテストに出場しました。今回は、全国でも珍しい3部門出場を果たし、各部員全力で取り組みました。

競技部門：5年情報 森下真孝（代表）  
5年情報 齋藤佑樹  
5年情報 佐藤洋介

競技部門では、全国の高専60チームと対戦しました。第一回戦では、試合終了間際に順位が逆転し、惜しくも突破を逃しましたが、敗者復活戦では3位に食い込み、準決勝進出を果たしました。残念ながら決勝進出は果たせませんでしたが、普段の活動では得られない経験をする事ができました。

課題部門：3年情報 一條端澄（代表）  
5年情報 藤森史樹  
3年情報 佐藤由弥  
2年情報 尾崎一幸

今年の課題部門のテーマは「ICTでサポートする明るい少子高齢化社会」ということで、私達は「あなたを見守り

隊」を作成しました。あなたを見守り隊は高齢者の一人暮らしをサポートする警備システムです。上位入賞とはいかなかったですが、来年は良い結果を残せるよう頑張ります。

自由部門：5年情報 森越友祐（代表）  
5年情報 大友将宏  
5年情報 塩住晃平

自由部門は「UTZO（うつぞー☆）」という作品で参加しました。企画を立てたのは7月くらいだったのですが、開発は9月からでした。本番までの1ヶ月ほどの期間はプログラム開発、説明書の作成、ポスターなどの準備でとても忙しい日々でした。上位入賞を逃しましたが、様々な作品との出会いや他高専の人々との交流があり、とても貴重で充実した体験が出来ました。



自由部門の作品デモ会場



課題部門と自由部門は敢闘賞。おめでとう。

## アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2013北海道地区大会



ロボットのジャンプ、緊張の瞬間



試合を終えて

### ロボコン地区大会を終えて

5年情報工学科 おかもと たつき  
岡本 樹

今大会の競技課題は「Shall we Jump?」で、ロボットと人間がコミュニケーションを行いながら縄跳びをするというものでした。

結果は1回戦敗退と芳しくないものですが、Aチームはマブチモーター株式会社から特別賞を、Bチームはデザイン賞をいただき、評価は決して悪くなかったと口惜しさこそあれど、後悔はしていません。この特別賞はAチームのジャンプ機構が大会参加チームで唯一の機構であったことに起因していると思います。ほとんどのチームが空気圧を用いる中、バネを用いてジャンプに成功した点は特に評価されたと思います。またBチームのデザイン賞も、ロボットの機構だけでなく装飾の観点からもよい評価が得られた結果で

あると考えています。

ロボット製作は常に計画や設計図どおりに進むわけではありません。それは、どんなことにもいえることですが、デジタルな計画や設計図をアナログに作り直すという作業は多くの問題を解決しなければならないのです。今大会では賞という評価をいただきました。しかし、地区大会で勝ち抜いて大会優勝を目指すという目標を達成できなかったことは反省すべき点であり、問題解決能力を強化することがオフシーズンの課題になります。

来年度こそは地区大会優勝はもちろん全国大会優勝という目標を達成できるよう、日々精進していく次第です。これからも応援よろしくお願いします。





クラブ展 茶道部



留学生によるバザー「One Plate Asia」



賑やかな廊下の壁



学科展 電子工学科



学科展 建築学科



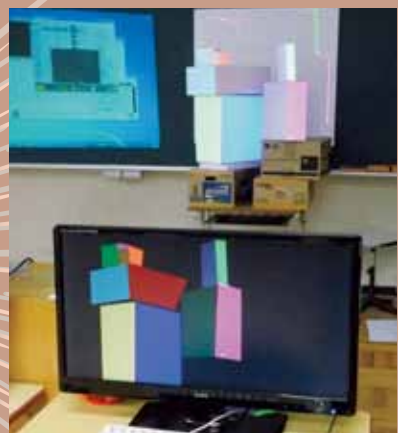
垂れ幕



学科展 機械工学科



学科展 電気工学科



学科展 情報工学科

Kushiro  
National  
College of  
Technology

K power

第49回高専祭



# 青春した



アコギ Street Live



バザー



クラス展 輪投げ



クラス展 ストラックアウト



クラブ展 科学ボランティア同好会



クラブ展 鉄道同好会



クラブ展 空手部



クラブ展 美術部



クラスパフォーマンス





## 新任教員紹介



電気工学科 助教  
さいとう せい き 齋 誠 紀

術の研究に携わってきました。核融合は、エネルギー

問題を解決するための未来の技術として、活発に研究されています。核融合発電

出身は、岐阜県多治見市

です。美濃焼の産地として知られ、由緒ある窯元などが点在する風情ある街で生まれ育ちました。また、多

治見市は、2007年8月に、当時の最高気温である40・9℃を記録し、日本一

暑い街としても知られています。私は、中学を卒業後、

技術系企業への就職を経験しています。技術者として

働くうちに、技術とその背後にある理論を詳しく勉強

したいと考え、大学入学資格検定を取得して愛知工業

大学電気学科電子工学専攻へと進学しました。その

後、名古屋大学大学院工学研究科エネルギー理工学専

攻へと進み、同大学で学位を取得しました。

大学では、核融合発電技

術を実現するためには、プラズマと炉材料の間で繰り返しられる多様な物理現象を理解して制御することが必要です。そこで、分子シミュレーションを用いて、

プラズマと炉材料の相互作用を原子スケールで解明しています。

大学入学資格検定を取得して大学へ進学するという

風変わりな経歴を歩んできました。他人と違う経歴を

歩んできたからこそ、伝えられることもあるかと思

います。特に、技術・理論の面白さと、失敗しても何度でも挑戦する気持ちを学生

に伝えていければと考えています。教員一年目という

ことで、何かと至らぬ点もあるかと思いますが、よろしく願います。

## タイKMILT留学記

※KMILTはキングダムの工科大学ラカバン校

電子情報システム工学専攻2年

よしむら ゆうき  
吉村 祐紀

お世辞にも日本や欧米各国の様に経済発展が熟しているわけでもなく、治安が悪いイメージがあるタイには、はたして得るものがあるのだろうか？

結論から申し上げますが、私にとってタイ留学はとても有意義で素晴らしいものでありました。理由として、次の3点を挙げます。

- ① 食に対する心構えの変化
- ② コミュニケーション能力の向上
- ③ 現地人の優しさ

### ① について

日本ほど食にうるさい国は御座いません。断言します。しかし私達はそれが当たり前と思っている筈です。タイに行く事でガラッと価値観が変わります。実際に行って、食べて体感して頂きたい。

### ② について

英語圏の国でないのなら英語が上手に話せなくても留学出来ます。私自身、TOEIC400点の英語がダメな学生の典型ですが、何とでもなりました。タイ

の人達は日本人の拙い英語を理解しようとしてくれますし、綺麗な英語を使おうと思わない事が大切です。

「I want to go」「I think」程度が話せれば十分伝わります。会話を行う事で自然と上達出来ます。

### ③ について

英語もろくに話せない状態の私に沢山のKMILT生や職員の方々が手を差し伸べてくれました。拙い英語でも充分理解出来る事、とにかく話すことが大切であると色々な人から言われました。留学当初、塞ぎ込みがちだった私を気遣って、日本人留学生との食事



会を催してくれたのもKMILTの学生達でした。今でも交流が続いていますし、現地で仲良くなった日本人留学生とも交流しています。

もっと書くことが沢山御座いますが、ページ数の関係でここまでとさせて頂きます。

もし、タイに少しでも興味をお持ちになりましたら気兼ねなく私にお聞き下さい。土産話を沢山、お話しさせて頂きます。



## 全道&amp;全国高専体育大会結果

H25高等専門学校体育大会 北海道地区大会成績表				
団体種目				
競技	種目	学生氏名		結果
バドミントン	女子、オープン			優勝
	男子			優勝
女子バスケットボール				優勝
男子バレーボール				優勝
個人種目				
テニス	女子シングルス	上杉 琴乃 (3年建築)	優勝	
	女子ダブルス	柳 綾 (2年電子)	優勝	
バドミントン		藤井 南帆 (2年建築)	優勝	
	男子シングルス	久保 遵幸 (3年電子)	優勝	
	男子ダブルス	久保 慶幸 (5年電子)	優勝	
		久保 遵幸 (3年電子)	優勝	
陸上	男子400m	本間 翼一 (3年機械)	2位	
	男子1500m	滝澤 拓海 (2年建築)	優勝	
		新村 翔 (4年建築)	2位	
	男子4×100mR	松谷 翔生 (3年電子)	2位	
		増田悠一郎 (1年1組)	2位	
		勝木 遼介 (1年2組)	2位	
		能登谷拓武 (4年建築)	2位	
	男子4×400mR	加藤 健一 (3年建築)	2位	
		滝澤 拓海 (2年建築)	2位	
		新村 翔 (4年建築)	2位	
		本間 翼一 (3年機械)	2位	
	男子走高跳	岡久 拓人 (5年電子)	優勝	
	男子砲丸投	小田 徳馬 (5年機械)	優勝	
		大島 賢一 (4年電子)	2位	
	男子円盤投	小田 徳馬 (5年機械)	2位	
男子やり投		若木 春二 (5年機械)	2位	
ソフトテニス	男子	鎌田 貴史 (5年電子)	優勝	
		成田 和弘 (5年情報)	優勝	
	女子	佐藤 楓 (4年電子)	優勝	
		菊地 留花 (3年建築)	優勝	
剣道	女子個人	栗田 朋子 (3年電子)	優勝	

※ 個人競技は、全国大会出場者もしくは優勝者のみ表示

H25高等専門学校体育大会 全国大会成績表			
団体種目			
競技	種目	学生氏名	結果
バドミントン	女子		第3位
	男子		1回戦敗退
女子バスケットボール			1回戦敗退
男子バレーボール			予選リーグ敗退
個人種目			
テニス	女子シングルス	上杉 琴乃 (3年建築)	2回戦敗退
	女子ダブルス	柳 綾 (2年電子)	1回戦敗退
		藤井 南帆 (2年建築)	
バドミントン	男子シングルス	久保 遵幸 (3年電子)	第3位
	男子ダブルス	久保 慶幸 (5年電子)	1回戦敗退
		久保 遵幸 (3年電子)	
陸上	男子400m	本間 翼一 (3年機械)	予選敗退
	男子1500m	新村 翔 (4年建築)	第11位
		滝澤 拓海 (2年建築)	予選敗退
	男子4×100mR	能登谷拓武 (4年建築)	予選敗退
		松谷 翔生 (3年電子)	
		増田悠一郎 (1年1組)	
		勝木 遼介 (1年2組)	
	男子4×400mR	吉田啓一郎 (5年建築)	予選敗退
		本間 翼一 (3年機械)	
		加藤 健一 (3年建築)	
		滝澤 拓海 (2年建築)	
	男子走高跳	岡久 拓人 (5年電子)	第2位
	男子砲丸投	大島 賢一 (4年電子)	第20位
	男子やり投	若木 春二 (5年機械)	第7位
ソフトテニス	男子ダブルス	鎌田 貴史 (5年電子)	2回戦敗退
		成田 和弘 (5年情報)	
		中村 健寛 (5年情報)	1回戦敗退
	女子ダブルス	村田 洋基 (4年情報)	
		佐藤 楓 (4年電子)	1回戦敗退
		菊地 留花 (3年建築)	
剣道	女子個人	栗田 朋子 (3年電子)	1回戦敗退

**今** 年度の硬式テニス部は、新1年生男子6人女子2人、計8人を迎え、3年生以下の16名(男子12人、女子4人)で活動をスタートしました。指導者はいませんが部員1人1人が練習に集中し、4年生以上の先輩もサポートしてくれているので練習中は活気が見られます。練習は休みなしの週7日(雨の日は休みですが)で行い、コートが使える夏場は手出しから球出し、ゲームなどをしてコートが使える限り効率よく全員で練習できるように考えてやっています。秋や冬に

かし、その短い時間で効率よくできるように練習をして、コートが使えるようになる春には技術向上や身体づくり、そしてメンタル面でも成長できるようにがんばっています。毎年、高体連が近づくと部内でランキング戦をして、団体戦メンバを決めます。この時期には、自分の実力がはつきりするようになるので、今までの練習の成果が発揮されることも、低学年にとっては先輩方を追い抜くことも励みになっています。

部活の雰囲気は先輩後輩、男女関係なくみんなが仲良く意見を出し合い、練習していきながら楽しくやるようにしています。部の雰囲気づくりを大切にしているのが、今では1年生もすっかり部に慣れて部活に解け込んでいます。またテニス部では、引退した先輩方が忙しい中練習にきてくれて指導してもらったり、一緒に練習してくれるので先輩方とも楽しく練習に励んでいます。

大会としては、高専ならではの高専大会などがあり、今年は女子のシングルスとダブルスが全国大会に行きました。また、1、2年生が主体となる高体連にも力を入れていきます。中でもチーム力が重要な団体戦が、今のテニス部の最注目ポイントです。昨年度はあと1戦勝てば全道進出だったのですが接戦で惜しくも負けてしまい全道進出はできませんでした。ところがその1年後、今年の新人戦では、みごと男子団体戦で優勝して全道進出を果たしました。また来年も優勝し、全道に行けることを目標に全員で練習していきたいと思っています。ご声援よろしくお願

秋季テニス大会で男子団体優勝!



## テニス部

2年建築学科 平井 一帆



高専地区体集合

なるとコートが使えるなくなるので、練習メニューが変わり体力づくり、筋トレ、コート上の雪かきなどをしています。体育館が割り当てられているときは夏場と変わりますが、コートを使っていますが、コートを使うより時間が限られます。しかし、その短い時間で効率よくできるように練習をして、コートが使えるようになる春には技術向上や身体づくり、そしてメンタル面でも成長できるようにがんばっています。毎年、高体連が近づくと部内でランキング戦をして、団体戦メンバを決めます。この時期には、自分の実力がはつきりするようになるので、今までの練習の成果が発揮されることも、低学年にとっては先輩方を追い抜くことも励みになっています。



全国大会で優秀な成績を収めた学生に特別賞が授与されました。  
[左から] 陸上の岡久君、バドミントンの久保(遵)君、女子団体の皆さん



# オープンキャンパス

オープンキャンパス無事終了！

校務主事 小田島本有  
おだじまもんあり

7月20日(土)・21日(日)の両日、釧路高専オープンキャンパスが開催されました。当日は釧路市内や近郊はもとより、根室・中標津方面、北見方面、帯広方面からそれぞれ本校で用意した臨時バスで来られた方もいらっしゃいました。この結果、両日合わせての来校者は昨年を100名近く上回る718名に達し、盛況でした。この数字は過去最高です。

午前中は本校学生のツアーコンによる各学科や施設などの訪問がありました。参加者は10名程度のグループに分かれ、グループごとに本校学生が案内を担当します。毎年実施されている学生ツアーコンは来校者の方々からも好評を得ています。昼食は無料でカレーを提供いたしました。昼食後は抽選で選ばれた方々を対象とした各学科による体験教室がそれぞれ2回催される一方、寮見学や各クラブの見学もあり、来校者の皆さまからは「もっと時間がほしかった」という声が数多くありました。

また、今回新たな試みとして、図書館ホールを使って「リケジョカフェ」を企画しました。入学後についてさまざまな不安や疑問を抱える女子中学生や保護者の皆様に、本校の女子学生がお話をするというコーナーです。会場では飲み物も提供され、休憩の場としても大いに活用されました。もちろん男子生徒も歓迎でしたが、多少気遅れを感じて遠慮なさった方もいらしたようです。

来校された方々、またご協力いただいた皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。



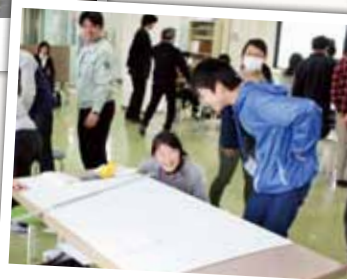




ピタゴラ装置設計図発表(5月)



ピタゴラ装置製作(6月)



三角測量体験(5月)



やじろべえの問題に拳手(6月)



分子模型作り(4月)

## 釧路高専ジュニアサイエンスクラブ、活動中

一般教育科 浦家 淳博

今年度、釧路高専ジュニアサイエンスクラブが発足しました。目的は「本校の教育資産を活用して、釧路地域の小中学生に科学やものづくりの面白さを体験させ、地域における理科離れの抑制と科学技術の普及啓蒙に寄与する」となっていますが、今はまず1年間の継続する活動のあり方を試行している段階です。

具体的には、小学校5年生から中学校2年生の30名の会員を対象に次のような枠組みで活動しています。

- 担当教員は6名(浦家、赤堀先生、本田先生、浅水先生、大槻(典)先生、佐藤(哲)先生)
- 場所は本校物理ラボ
- 原則毎月最終土曜日10:00～15:00(12:00～13:00は昼休み)
- 年会費1,000円

月1の土曜日に5時間を拘束されるのですが、先生方は出張以外はなんとか時間を作っていただき、全員で対応しています。また、科学ボランティア同

好会などの学生にも手伝ってもらって本当に助かっています。

活動の午後は、実験を含めた理科授業をしています。これまでに行った内容は次の通りです。

4月「もしも原子が見えたなら」、5月「測る、を極める」、6月「バランスを極める」、7月「低温の世界」、8月「音の世界」、9月「磁石の世界」、10月「宇宙の話」、11月「静電気の世界」

活動の午前は、9月までNHKのEテレで放映している番組中で紹介される「ピタゴラ装置」のグループ製作を行ってきました。10月からは個々人の興味に沿った自由研究を展開していきます。6名の教員に受講者を割り振っているので卒業研究のミニ版といった感じです。どんな成果を出してくれるか楽しみです。

※毎月の活動報告を本校HP(<http://www.kushiro-ct.ac.jp>)で公開しています。



ドライアイスで破裂(7月)



昼食のひとコマ(8月)



磁石と方位磁針の実験(9月)



珍しい楽器に好奇心(8月)



ピタゴラ装置発表会(9月)





# ニュージーランド 語学研修に参加して

3年電子工学科 小川 美優 おがわ みゆう

夏休みの後半から終わりにかけて、ニュージーランドの語学研修がありました。釧路高専の5名、函館高専の3名と教員2名の10名でニュージーランドへ渡航しました。

ホームステイ先は北島のネーピアでした。平日は語学学校に通いました。クラスでは主に中国、台湾、タイなどのアジア系の人と授業を受け、ニュージーランド人以外の人とも交流を取ることができました。クラスは

レベルごとに分けられました。

学校の授業以外では、ネーピアの市街を散策、牧場や羊毛専門店などを見学しました。また、水族館で



魚やサメが泳ぐ水槽の中で泳ぐなど普段ではできない体験ができたと思います。ネーピアは穏やかな自然に囲まれた街で、牧地が沢山あり羊がたくさんいました。

研修中、日本メーカーの製品を見ることがありました。道路で古い日本車が走っているのを見かけました。また私のホストファミリーも古いトヨタ車を持つっており、家の電子レンジはシャープ製のものでした。私はここで改めて日本が、他の国に認められるだけのものを作っていると感じました。

この研修を通して、異文化に触れて、視野を広げ様々なことを知るために英語を学んでいきたいと思いました。



## 行事予定

12月21日(土) 閉寮日  
12月24日(火) - 1月6日(月)  
冬季休業  
1月7日(火) 授業参観日振替(閉寮日)  
1月10日(金) 火曜授業  
1月14日(火) 学習到達度試験(3年)  
1月18日(土) 本科推薦選抜  
1月21日(火) 立会演説会・冬季校内体育大会  
(午前授業)  
1月22日(水) 役員選挙・冬季校内体育大会  
1月30日(木) 月曜授業

2月1日(土) 企業説明会  
2月10日(月) 補講期間①  
2月12日(水) 補講期間②  
2月13日(木) - 20日(木)  
学年末試験

2月16日(日) 本科学力選抜  
2月17日(月) 臨時休講  
2月20日(木) 合同HR  
2月21日(金) 答案返却期間(5年生退寮日)  
2月21日(金) 専攻科学生特別研究発表会  
2月24日(月) 答案返却期間  
2月27日(木) 5年再試験期間(2/27~2/28)

3月4日(火) 再試験時間割揭示  
3月6日(木) - 7日(金)  
1~4年再試験  
3月8日(土) 1~4年閉寮日  
3月15日(土) 卒業式(第45回)、修了式(第9回)  
3月17日(月) - 学年末休業

## 釧路工業高等専門学校

〒084-0916 釧路市大楽毛西2丁目32番1号 TEL (0154)57-7203  
<http://www.kushiro-ct.ac.jp/>